

金目小学校 4 年生出前授業

タイトル 金目川を知ろう（暴れ川との闘い、災害に備えて）

- ・授業実施日 2021 年 11 月 4 日（木）Am10 時~12 時 20 分まで
- ・参加者 生徒 74 名 先生方 7 名 講師 5 名 計 86 名 ・体育館にて実施

◎生徒たちからの事前の質問が多くなった、生徒たちが高い関心と疑問を持っていることに感激をしました、質問を中心に精一杯の回答に努力いたしました。

授業① 担当 柳川三郎

暴れ川とのたたかい 生徒からの 18 項目の質問、すべてに対して答えた、特に暴れ川の氾濫が激しかった時については、何年も続いた自然災害の脅威は 1703 年 11 月、元禄の最後の年の元禄大地震、マグニチュード 8.2 大磯が隆起、下流の液状化について、そして、翌年、1704 年 6 月と 1705 年 6 月の 2 年続けて大洪水と 1706 年の川の改修工事の事、だが、1707 年富士山の宝永大噴火で川は火山灰で埋まり洪水が発生したこと、又、暴れ川になったときの金目川の深さは 2 m 75 c m を超えて危険につき近寄らないように教えた。さらに、暴れ川の防御に地域の老若男女すべてが一体になり協力したことを教えた。その他の質問にたいしても丁寧にしっかりと答えました。



授業② 担当 西岡哲

タイトル「金目川を知ろう」で「金目川の水は何処からくるだろうか」「雨が降っていないのになぜ川に水が流れているだろうか」子供たちに伝えたいことは、水は雨となって地上に降り注ぎ、地下にしみこみ川になって海に出ていき、蒸発して雲となり雨となって又戻ってくるという水循環について、考えてみてもらいたいことです。どこまで興味を持ってもらえたかは？です。



授業③ 担当 永尾貴一

金目川の魚に関する質問に対する回答を行う。
担当者の感想、多くの生徒たちが熱心に説明を聞いていただきありがとうございました。生徒たちは今回のテーマに深い関心を持っていると感じました。質問も沢山でてきました。生物、環境に深い関心を持ち続けて大人になってほしいと思います。現在、若い皆様の環境への関心がなければ将来の日本の自然環境は保護されません。「金目川のきれいな魚は何ですか？」との質問に上流のヤマメやあゆやオイカワの雄と答えました。





授業④ 担当 篠原憲一

液状化現象について、大きな地震の時には、地盤に水が多く含まれている海や池等の埋め立て地その他では液状化という現象が起きます。砂と泥の混じっている地盤がおおきな地震でゆらされると水と軽いものが浮き上がり、重いものが沈み地表面はドロドロになり、家や電柱やその他の傾き道路もぐちゃぐちゃになります。2011年3月11日の東日本大震災のときに浦安ディズニーランドは海の埋め立て場所のため、周辺を含めた広い地域で液状化被害がありました。その時の写真のパネル10枚を見てもらいながら、最後に手づくりの装置で液状化実験を実演して、生徒たちに多大な気づきをあたえることができました。

